

國學院大學法学部 「講義計画」の作成にあたって

- (1) 國學院大學法学部ではセメスター制を採用し、1セメスター15回(1回の授業時間は90分)で完結する授業を行い、これを2単位として認定することを原則としております。講義科目「国際政治A」は、1セメスター・2単位の科目として開講されておりますので、ご提出いただく「講義計画」でも、15回分のものを作成してください。また、上記科目は対面授業で開講されることを前提に講義計画を作成してください。
- (2) 「国際政治A」および「国際政治B」は、それぞれ2年次配当の半期2単位の選択必修科目であり、通常、同一年度に、前期に「国際政治A」、後期に「国際政治B」をご担当いただきます。両科目は、主として20世紀後半から現代までの国際政治(経済・社会・外交への言及を含む)について、①その歴史的な概略の説明、②その構造的な特徴についての概略の説明、③それらを分析する基本的な枠組の概略の提示を行ってもらうことを目的としています。
- (3) 今回の講義計画は、「国際政治A」についてのみご執筆いただきます。ご執筆の際、「国際政治B」の内容との連続性を考慮していただいて構いません。その際、「講義計画」の末尾の「注意事項」欄に「国際政治B」でとりあげる内容を簡潔にご記入下さい。その他に開講されている科目も含め、科目配置の全体像などについては、本学ウェブサイト掲載の履修要綱(<https://www.kokugakuin.ac.jp/student/tuition/p6>)やカリキュラムリスト&ツリー(<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/law/curriculum>)などをご参照ください(なお、ご参照にあたっては、現在の主要なカリキュラムの運用が開始された平成30年度(2018年度)以降のものをご利用ください)。
- (4) 講義計画は政治専攻の学生向けの講義を念頭に置いてご執筆下さい。政治専攻の学生に関しては、カリキュラム上、①高校の政治経済程度を含む政治制度論および国際政治と比較政治の初歩的な知識、②19世紀後半から1960年代前後までの日本および西洋主要国の政治史の概括的な知識、③19世紀から20世紀中葉にかけての概括的な国際関係史の知識を前提として講義していただくことができます。また、1年次配当の「国際政治入門」や、2年次で並行履修する、日本の政治、行政学、政治思想史等の知識を合わせて、上位学年に設置されている「比較政治」等のより広い視野の獲得を求める科目、および、「平和研究」等のより個別的な理解を求める科目に接続するようになっています。
- 法律学科各専攻の特質や科目展開などについては、前掲サイトのほか、本学ホームページの「3専攻制とコース制」にある「各専攻の特色」および「法学部の学士課程教育3ポリシー」にある「教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)」をご覧ください(<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/law/about>)。

以上